



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 株式会社ユシロ 上場取引所 東  
コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 有坂 昌規  
問合せ先責任者(役職名) コーポレート統括部門 (氏名) 横井 宏紀 TEL 03-3750-6793  
財務部長  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	38,809	△7.5	3,827	△5.7	4,845	△3.3	4,519	18.8
2025年3月期第3四半期	41,978	5.9	4,060	34.6	5,013	30.6	3,802	30.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 5,064百万円( 30.8%) 2025年3月期第3四半期 3,871百万円( △40.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	340.03	—
2025年3月期第3四半期	279.82	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	64,584	46,234	71.3	3,535.98
2025年3月期	63,404	44,970	68.5	3,213.91

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 46,054百万円 2025年3月期 43,434百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	68.00	98.00
2026年3月期	—	30.00	—		
2026年3月期(予想)				68.00	98.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,200	△7.8	4,600	△9.2	5,700	△6.5	4,900	13.6	370.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2025年11月11日の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 —社 (社名) — 、除外 1社 (社名) 上海尤希路化学工業有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	13,900,065株	2025年3月期	13,900,065株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	875,645株	2025年3月期	385,545株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	13,291,490株	2025年3月期3Q	13,590,556株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明資料は、2026年2月6日 (金) に当社ウェブサイトに掲載予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(連結の範囲の変更) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(収益認識関係) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の金融政策及び通商政策の動向に対する不透明感が継続する中、ウクライナ情勢や中東地域における国際紛争の長期化により、資源・エネルギー価格の変動が続き、景気の先行きには依然として不透明感が残りました。加えて、世界的に半導体供給リスクや部品調達の制約が業界全体のコスト・生産計画に影響を及ぼす動きがみられました。一方、日本経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調を維持しました。しかしながら、物価上昇の継続や為替相場の変動、海外経済の不透明性、米国の通商政策の影響など、引き続き注視すべき要因が存在しています。

このような経済環境のもと、当社は中期経営計画『EXPLORER PLUS』の2年目として、同計画の目標達成に向け、各種施策を着実に取り組んでおります。主要顧客である自動車メーカー及び自動車部品メーカー向け製品につきましては、様々なコスト上昇要因に対応し採算性の確保を図るとともに、EV化の進展や顧客のESG志向を見据えた新製品の拡販・投入を積極的に進めております。また、非自動車分野においては、今後の需要拡大が見込まれる航空機分野への展開を強化するとともに、新規事業としてヒカリアクションや自己修復性素材といった新商材の事業化にも取り組んでおります。あわせて、IT基盤の強化やDXの推進、人材育成や組織体制の整備など、中長期的な視点に立った戦略的な投資にも着実に取り組んでおります。これらを通じて、企業価値の向上と持続可能な成長を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、日本と東南アジア/インド地域で売上高が増加したものの、中国合弁会社を連結範囲から除外し持分法適用関連会社化<sup>\*</sup>したことにより、前年同期比7.5%減の38,809百万円となりました(中国を除くと前年同期比0.2%増)。営業利益は、原材料価格の高止まりが一服したものの、経費および人件費の増加に加え、中国合弁会社の連結除外の影響により、前年同期比5.7%減の3,827百万円となりました(中国を除くと前年同期比1.3%増)。経常利益は、シンジケートローンの更新に伴う手数料を計上したこと等により、前年同期比3.3%減の4,845百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したこと等により前年同期比18.8%増の4,519百万円となりました。

## ※中国合弁会社の連結除外による持分法適用関連会社化

中国合弁会社である上海尤希路化学工業有限公司は、合弁相手を引受先とする株主割当増資手続きが2025年9月29日に完了したことで、当社の持分比率は50%となりました。これにより同社は連結の範囲から除外され、持分法適用関連会社となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高及び営業利益は、同社の第1四半期分(3か月分)のみを計上しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

## ①セグメント別売上高

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		14,750	35.1	14,932	38.5	182	1.2
海外	南北アメリカ	17,140	40.8	16,847	43.4	△293	△1.7
	中国	4,730	11.3	1,486	3.8	△3,243	△68.6
	東南アジア/インド	5,357	12.8	5,544	14.3	186	3.5
	海外合計	27,227	64.9	23,877	61.5	△3,350	△12.3
日本+海外合計		41,978	100.0	38,809	100.0	△3,168	△7.5

## ②セグメント別営業利益

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		769	17.3	616	14.7	△152	△19.8
海外	南北アメリカ	2,756	61.8	2,787	66.6	30	1.1
	中国	359	8.1	79	1.9	△280	△77.9
	東南アジア/インド	570	12.8	702	16.8	132	23.2
	海外合計	3,686	82.7	3,569	85.3	△116	△3.2
日本+海外合計 (調整額除く)		4,456	100.0	4,186	100.0	△269	△6.0

## ③セグメント別概況

(日本)

市場全体では依然として自動車生産の伸びが鈍い状況が続く中、販売価格の改定や拡販に努めた結果、売上高は前年同期比で増加しました。しかし、経費や人件費増の影響により、営業利益は前年同期比で減少しました。

(南北アメリカ)

非自動車分野向けの需要は比較的堅調でしたが、期初の一時的な要因として、日系自動車メーカーによる関税政策への対応として在庫調整などが進められた影響もあり、売上高は前年同期比で減少しました。一方で、原材料価格が低下傾向で推移したことから、営業利益は前年同期比で増加しました。

(中国)

前期は、上海尤希路化学工業有限公司及び如東尤希路化学工業有限公司の2社の業績を連結して計上していました。一方、当期の売上高及び営業利益には、両社の連結除外による持分法適用関連会社化により上海尤希路化学工業有限公司の第1四半期分(3か月分)のみを計上しております。

(東南アジア/インド)

一部地域では金利上昇や景気減速の影響により自動車販売が伸び悩みましたが、新規顧客の獲得や既存顧客向けの拡販が進展したほか、二輪車向けの需要が引き続き好調に推移したため、地域全体では売上高は前年同期比で増加しました。加えて、原材料費の低減や生産効率の改善などの原価低減施策が寄与したことから、営業利益は前年同期比で増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、64,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,179百万円増加しました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」が1,234百万円、「現金及び預金」が750百万円減少したものの、「関係会社出資金」が1,584百万円、「建設仮勘定」が1,201百万円増加したことによりです。

負債は、18,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少しました。主な要因は、「短期借入金」が839百万円、「繰延税金負債」が542百万円増加したものの、「未払金」が578百万円、「長期借入金」が547百万円、流動負債の「その他」が533百万円減少したことによりです。

純資産は、46,234百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,264百万円増加しました。主な要因は、「非支配株主持分」が1,355百万円減少し「自己株式」が1,055百万円変動したものの、「利益剰余金」が3,133百万円、「その他の有価証券評価差額金」が1,280百万円増加したことによりです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年11月11日公表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,380	11,629
受取手形及び売掛金	9,929	8,695
商品及び製品	3,049	2,470
原材料及び貯蔵品	5,068	4,825
その他	1,299	1,288
貸倒引当金	△32	△22
流動資産合計	31,694	28,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,796	3,591
機械装置及び運搬具(純額)	1,367	1,323
工具、器具及び備品(純額)	324	316
土地	5,163	5,134
リース資産(純額)	46	85
使用権資産(純額)	364	308
建設仮勘定	87	1,289
有形固定資産合計	11,150	12,048
無形固定資産		
のれん	1,787	1,493
顧客関連資産	2,074	1,820
技術資産	593	503
商標権	520	441
その他	1,004	893
無形固定資産合計	5,980	5,152
投資その他の資産		
投資有価証券	5,584	7,459
関係会社株式	5,787	6,192
関係会社出資金	1,786	3,370
保険積立金	686	643
長期預金	2	2
退職給付に係る資産	341	373
繰延税金資産	108	111
その他	294	353
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	14,579	18,496
固定資産合計	31,709	35,697
資産合計	63,404	64,584

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,950	4,945
短期借入金	4,928	5,768
リース債務	107	102
未払金	1,167	589
未払法人税等	348	550
賞与引当金	427	328
役員賞与引当金	3	6
その他	1,544	1,010
流動負債合計	13,478	13,301
固定負債		
長期借入金	604	56
リース債務	315	302
繰延税金負債	2,548	3,091
役員退職慰労引当金	121	143
退職給付に係る負債	1,168	1,249
長期預り保証金	186	193
資産除去債務	11	11
固定負債合計	4,955	5,048
負債合計	18,433	18,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	3,931	3,939
利益剰余金	29,777	32,911
自己株式	△589	△1,645
株主資本合計	37,368	39,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,433	3,714
為替換算調整勘定	3,771	2,974
退職給付に係る調整累計額	△139	△89
その他の包括利益累計額合計	6,065	6,599
非支配株主持分	1,536	180
純資産合計	44,970	46,234
負債純資産合計	63,404	64,584

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	41,978	38,809
売上原価	28,828	25,680
売上総利益	13,149	13,129
販売費及び一般管理費	9,089	9,302
営業利益	4,060	3,827
営業外収益		
受取利息	148	169
受取配当金	150	172
為替差益	39	—
持分法による投資利益	597	623
その他	112	220
営業外収益合計	1,048	1,184
営業外費用		
支払利息	45	52
為替差損	—	8
シンジケートローン手数料	—	74
その他	49	31
営業外費用合計	95	166
経常利益	5,013	4,845
特別利益		
関係会社株式売却益	133	—
持分変動利益	—	24
投資有価証券売却益	—	1,327
特別利益合計	133	1,352
特別損失		
固定資産廃棄損	51	—
特別損失合計	51	—
税金等調整前四半期純利益	5,095	6,198
法人税等	1,091	1,605
四半期純利益	4,004	4,593
非支配株主に帰属する四半期純利益	201	73
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,802	4,519

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	4,004	4,593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	1,280
為替換算調整勘定	117	△893
退職給付に係る調整額	7	50
持分法適用会社に対する持分相当額	△231	34
その他の包括利益合計	△133	471
四半期包括利益	3,871	5,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,601	5,092
非支配株主に係る四半期包括利益	269	△27

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会決議に基づき、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間において自己株式275,400株の取得を行っております。また、2025年7月16日開催の取締役会決議に基づき、第2四半期連結会計期間において譲渡制限付株式報酬として自己株式18,800株の処分を行っております。さらに、2025年11月11日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結会計期間において自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式233,500株の取得を行っております。

これらを含む自己株式の取得及び処分の結果、自己株式が1,055百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,645百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(連結の範囲の変更)

当社の連結子会社であった上海尤希路化学工業有限公司は、2025年9月29日付にて合弁相手を引き受け先とする株主割当増資が完了し持分比率が低下したため、連結の範囲から除外し、持分法の範囲に含めております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	837百万円	881百万円
のれんの償却額	191百万円	189百万円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア ／インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	13,179	17,140	4,730	5,357	40,407	—	40,407
クレンリネス関連事業	1,570	—	—	—	1,570	—	1,570
顧客との契約から 生じる収益	14,750	17,140	4,730	5,357	41,978	—	41,978
外部顧客への売上高	14,750	17,140	4,730	5,357	41,978	—	41,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,174	3	—	34	1,211	△1,211	—
計	15,924	17,143	4,730	5,391	43,189	△1,211	41,978
セグメント利益	769	2,756	359	570	4,456	△395	4,060

(注) 1 各報告セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア／インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益の調整額△395百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△4百万円、クオリケムInc.買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△391百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア ／インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	13,366	16,847	1,486	5,544	37,243	—	37,243
クレンリネス関連事業	1,566	—	—	—	1,566	—	1,566
顧客との契約から 生じる収益	14,932	16,847	1,486	5,544	38,809	—	38,809
外部顧客への売上高	14,932	16,847	1,486	5,544	38,809	—	38,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,029	1	—	8	1,040	△1,040	—
計	15,962	16,848	1,486	5,552	39,850	△1,040	38,809
セグメント利益	616	2,787	79	702	4,186	△359	3,827

(注) 1 各報告セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア／インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

- 2 セグメント利益の調整額△359百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が20百万円、クオリケムInc. 買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△386百万円であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 収益の分解情報のうち、クレンリネス関連事業は、従来のビルメンテナンス関連事業から名称変更したものであります。なお、当該変更がセグメント情報の数値に与える影響はありません。  
また、前第3四半期連結累計期間の名称は、変更後の名称に基づき記載しております。
- 5 中国セグメントにおいて、前第3四半期連結累計期間は上海尤希路化学工業有限公司及び如東尤希路化学工業有限公司の2社の業績を連結して計上していましたが、当第3四半期連結累計期間は両社の連結除外による持分法適用関連会社化により、上海尤希路化学工業有限公司の第1四半期分(3か月分)の業績のみを計上しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。